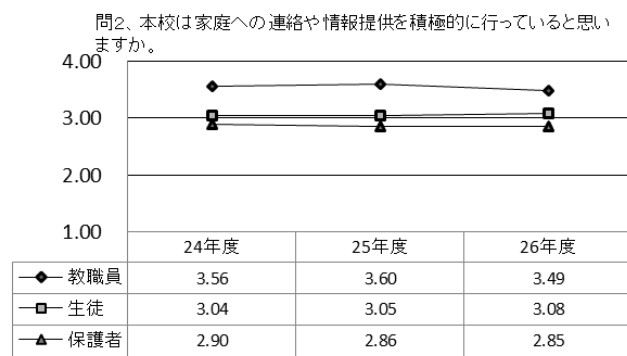
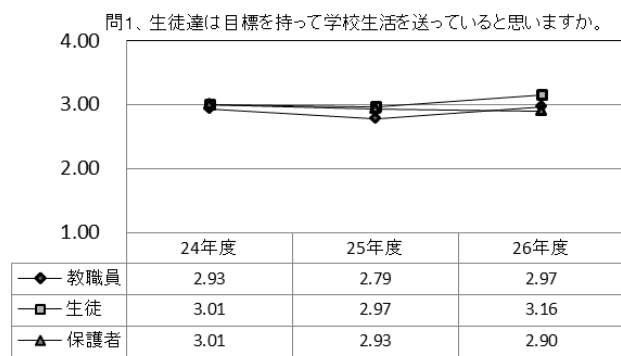


学校評価アンケート特集

よりよい南林間中学校づくりを目指して、昨年11月末から12月初旬にかけて教職員・生徒・保護者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施しました。三者の比較ができるよう共通の項目も設定しました。

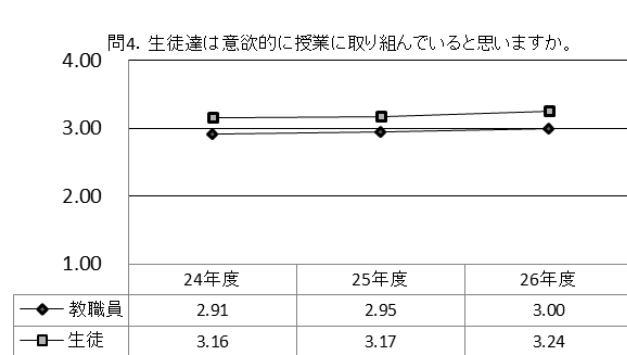
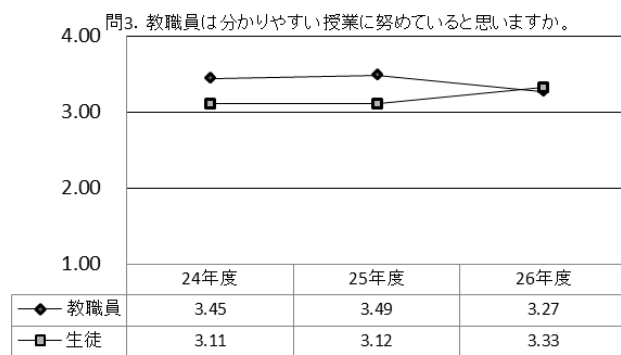
回答は、4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わないとしました。中間値は2.5となり、平均値が3以上であれば良い、2.5～3をやや良い、2～2.5をやや悪い、2以下を悪い評価として、一昨年・昨年との比較、三者の差異について分析・考察しました。

1. 学校運営



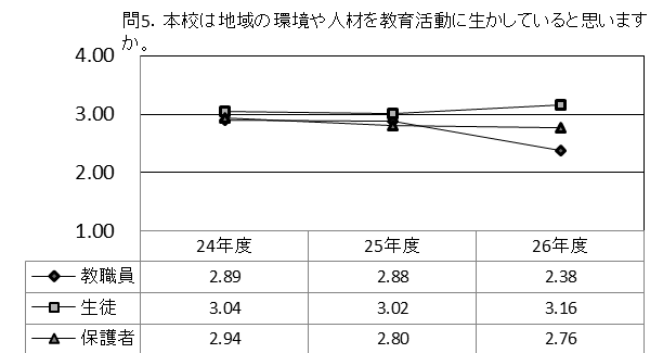
問1の結果から、生徒の平均値は3.16と高い数値を示しており、多くの生徒達は目標を持って生活していることがわかります。問2の結果から、教職員は家庭への連絡を積極的に行っているという意識が高いことがわかります。しかし、三者の中で常に保護者の値が低いことから、保護者に学校からの連絡や情報提供が届いていないことも考えられます。

2. 学習指導



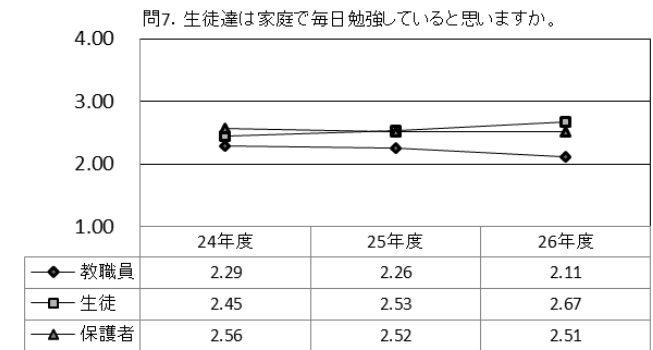
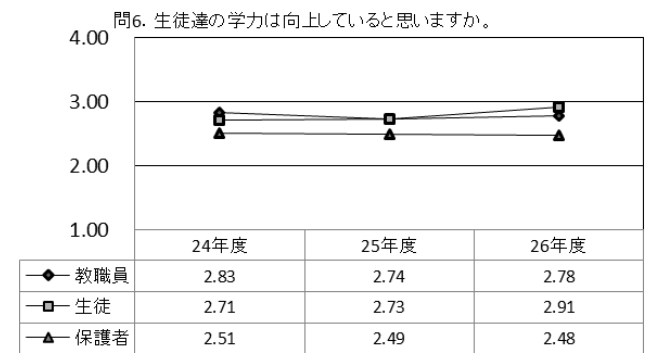
問3の結果から、教職員、生徒共に高い数値を示しています。教職員と生徒との差もほとんどなくなりました。教職員は今後も引き続き分かりやすい授業に努めていくことが大切であると考えられます。

問4の結果から、教職員、生徒共に微増傾向であることがわかります。教職員よりも生徒のほうが高い数値を示していることから、教職員が感じている以上に生徒は意欲的に授業に取り組んでいると感じていると考えられます。



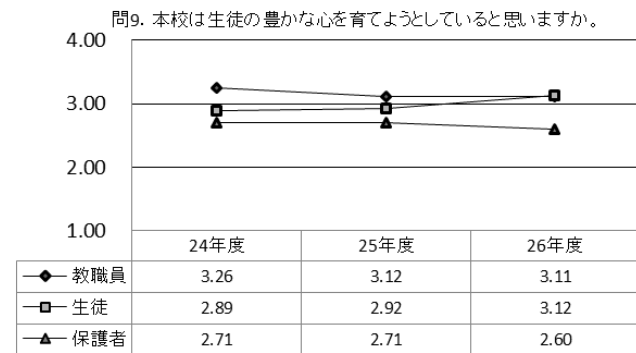
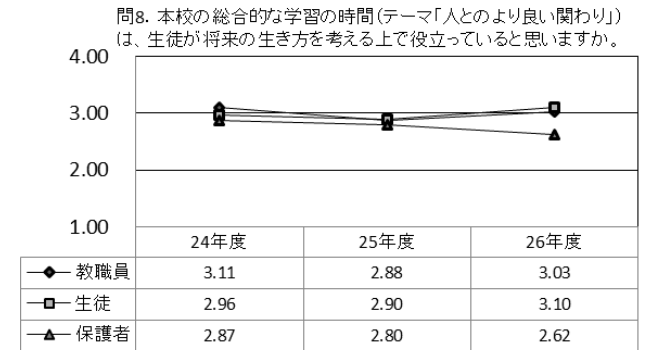
問5の結果より、教職員の数値が大きく減少しました。今後、さらに教職員は地域の環境や人材を教育活動に生かしていく必要があると思われます。

問6の結果より、教職員、生徒、保護者共に3年間の推移に変化は少ないことがわかります。三者のうち、常に保護者の数値がやや悪く、生徒の学力の向上については期待に応えられていないと思われます。



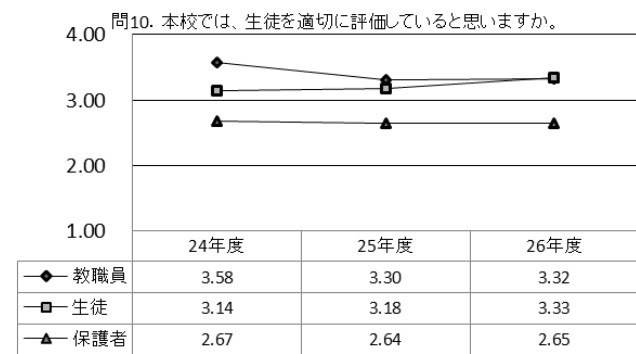
問7の結果より、生徒はわずかに上昇していますが、逆に教職員は減少しており、生徒と教職員の差が大きくなってきました。他の質問項目に比べ、数値が低く「毎日」、「家庭」で勉強している生徒は少ないようであることがわかります。

問8の結果より、昨年度まで下降傾向であったが、今年度より総合的な学習の時間のテーマが「平和」から「人とのより良い関わり」に変わり、教職員と生徒の値が上昇に転じました。



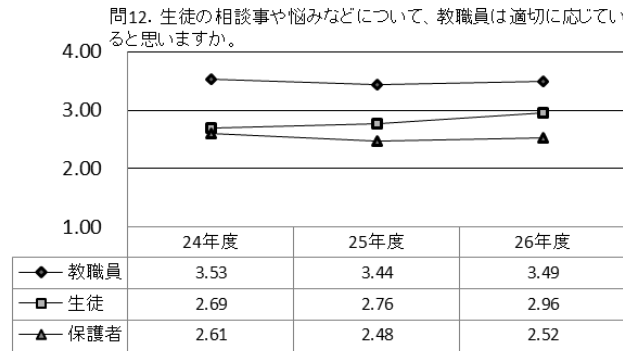
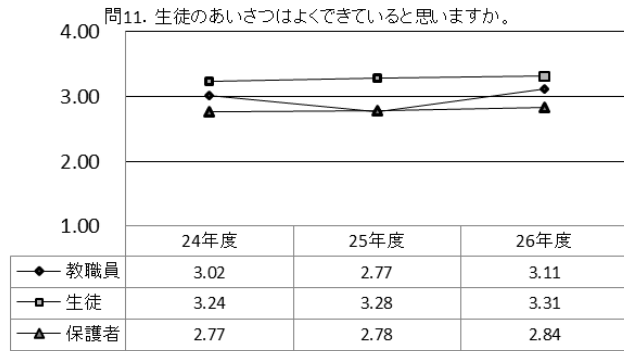
問9の結果より、保護者は低い値で推移しています。「豊かな心」の具体的なイメージと「豊かな心を育む」具体的実践場面が分かり難いのではないかと考えられます。

3. 評価



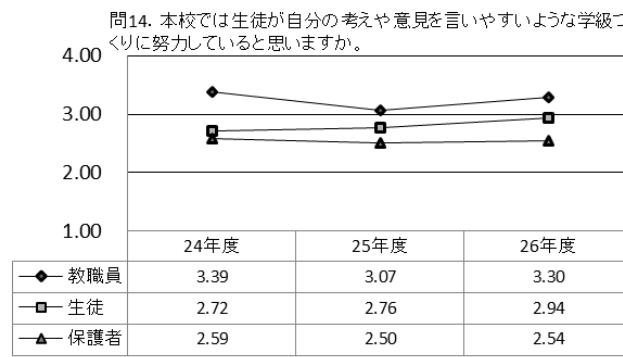
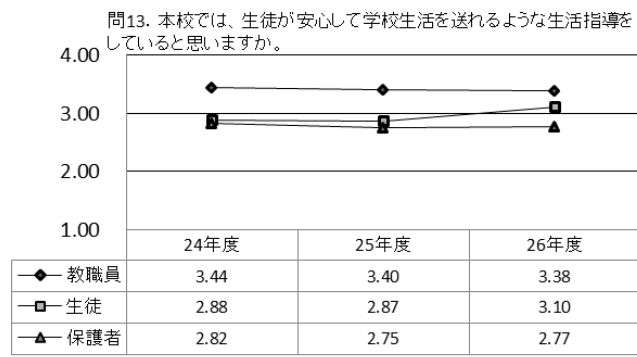
教職員と生徒の差が無くなり、生徒は適切に評価されていると認識していると考えられます。以前より、保護者との隔たりは大きいことから、今後とも保護者に対して評価についての具体的で分かりやすい説明が必要であることがわかります。同時に、保護者がどのような所を適切でないと感じているのかの把握も必要であると考えられます。

4. 生活指導



問11の結果より、教職員が上昇し、生徒と教職員の差が小さくなりました。生徒と教職員の間のあいさつは実践されていることがわかります。

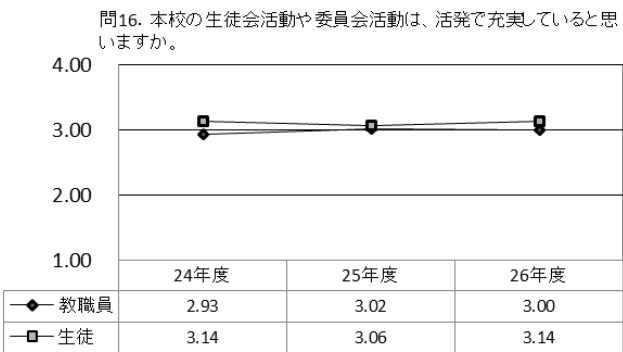
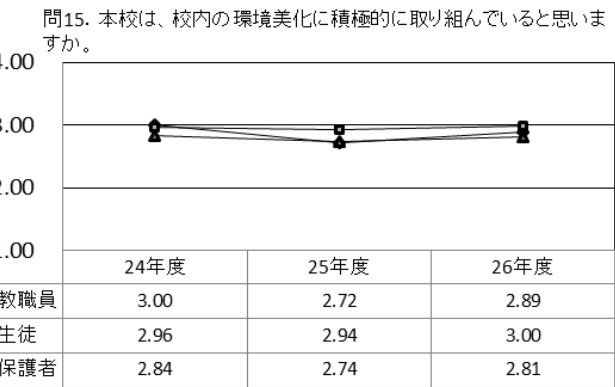
問12の結果より、生徒が徐々に上昇しており、教職員との差が小さくなりつつありますが、教職員と保護者との隔たりは依然として大きい。なぜ、教職員と保護者との隔たりが大きいのか探っていく必要があると考えられます。



問13の結果より、生徒が徐々に上昇しており、教職員との差が小さくなりつつありますが、教職員と保護者との隔たりは依然として改善していないことがわかります。

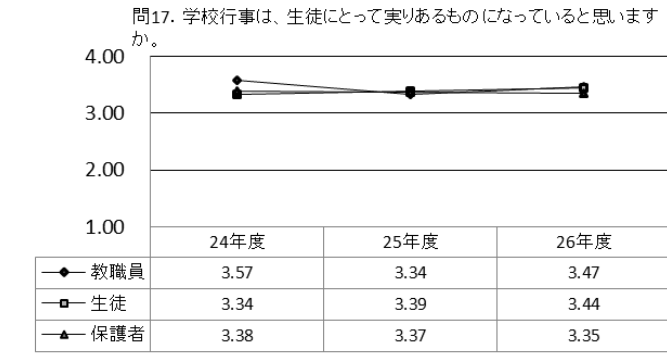
問14の結果より、生徒は徐々に上昇傾向です。今後も生徒が自分の考えや意見を言いやすいような学級づくりに努力を続ける必要があることがわかります。

5. 特別活動



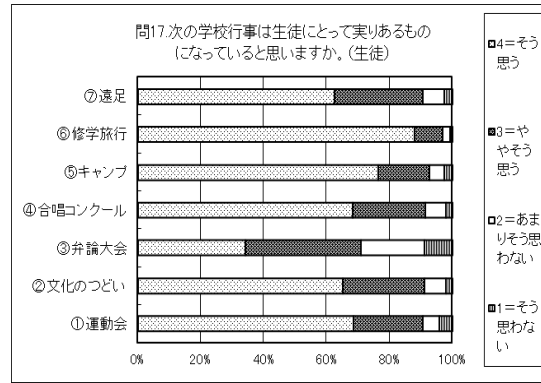
問15の結果より、他の質問項目に比べ、大きな推移の変動が少ないことがわかります。

問16の結果より、生徒の値も高く、生徒会活動や委員会活動は活発に活動していると感じている生徒が多いようです。今後もこの傾向を維持していく必要があると考えられます。



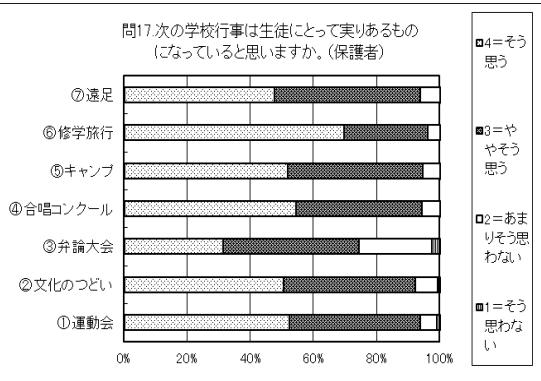
三者共に高い評価となっています。例年同様弁論大会に対する評価が低い結果となりました。教科の授業のひとつとしての取り組みである弁論大会を、他の行事と同様に比較した結果だと思われます。

〈生徒〉



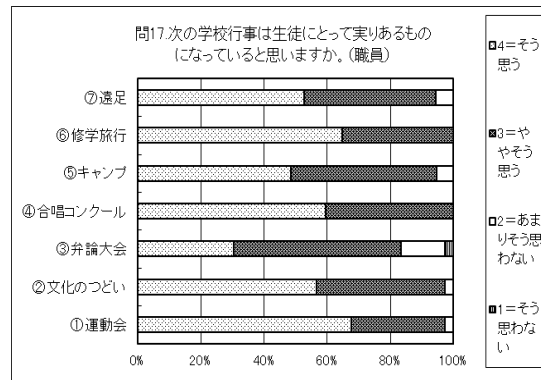
	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行	⑦遠足
4=そう思う	502	471	167	490	203	190	143
3=ややそう思う	160	188	181	165	43	19	64
2=あまりそう思わない	39	51	99	48	13	5	16
1=そう思わない	31	15	44	15	7	2	6

〈保護者〉

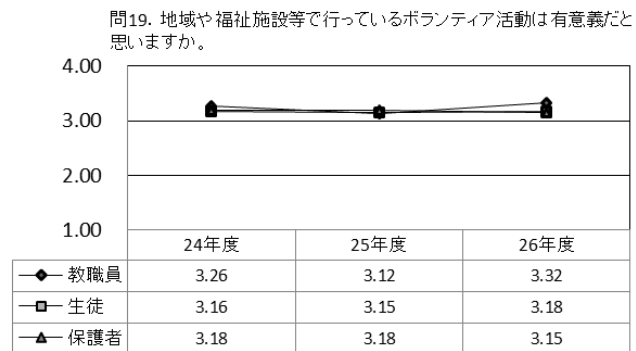
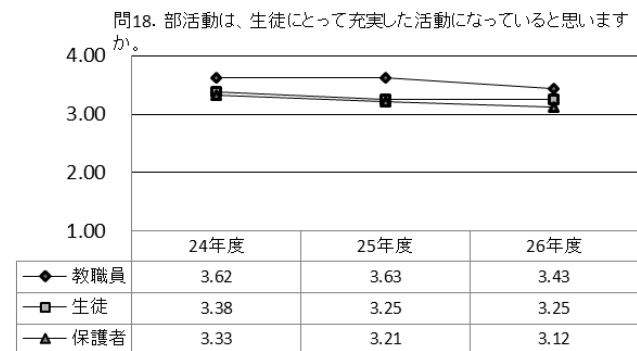


	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行	⑦遠足
4=そう思う	227	219	85	228	74	89	75
3=ややそう思う	180	181	117	168	61	34	73
2=あまりそう思わない	23	30	63	21	7	5	9
1=そう思わない	5	4	7	3	1	0	1

〈職員〉



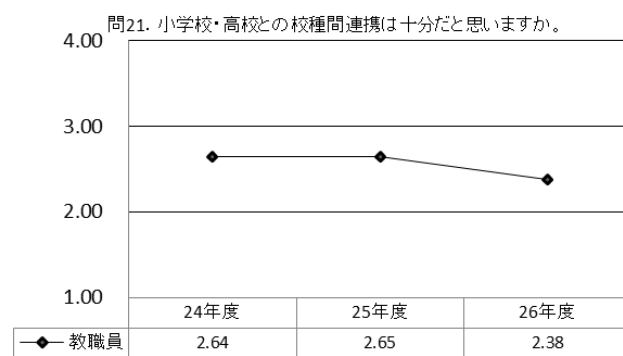
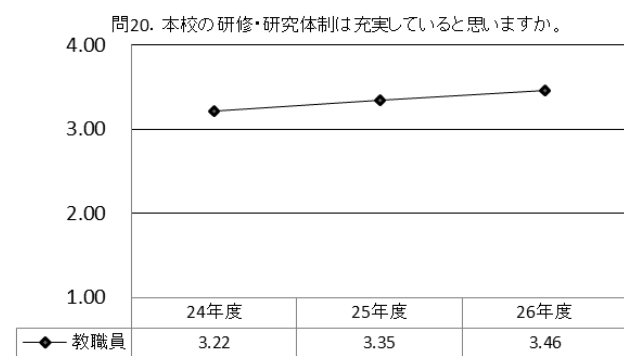
	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行	⑦遠足
4=そう思う	25	21	11	22	18	24	19
3=ややそう思う	11	15	19	15	17	13	15
2=あまりそう思わない	1	1	5	0	2	0	2
1=そう思わない	0	0	1	0	0	0	0



問18の結果より、高い評価で推移しているものの、徐々に評価が下降しています。

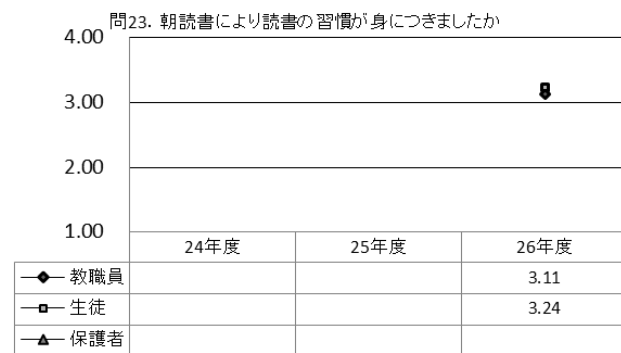
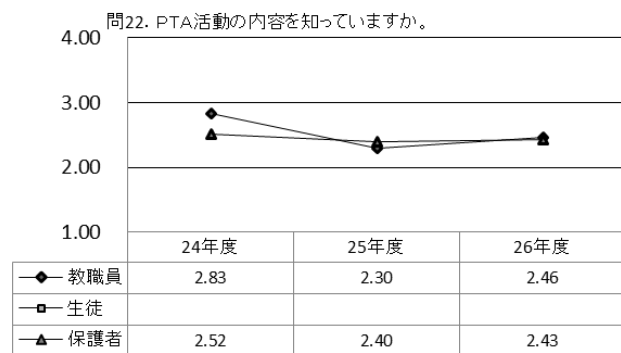
問19の結果より、三者共に高い評価で推移しています。生徒にとって有意義な活動のひとつであることがわかります。

6. その他



問20の結果より、年々、大きく上昇していることがわかります。研修・研究体制が充実していると感じている職員が多いことが分かります。

問21の結果より、今年度は「やや悪い」結果となりました。今後、減少した原因を探り改善していく必要があります。



問22の結果より、今年度は「やや悪い」結果となりました。今後、減少した原因を探り改善していく必要があります。

問23の結果より、今年度より始まった朝読書活動については、教職員、生徒共に高い評価となりました。

まとめ

生徒集計		保護者集計	
高い評価項目		低い評価項目	高い評価項目
目標を持った学校生活	あいさつの励行		学校行事
家庭への連絡	生活指導		部活動の充実
わかりやすい授業	校内環境美化		P T A 活動の周知
授業への取り組み	生徒会・委員会活動		ボランティア活動
地域の人材活用	学校行事		
総合的な学習の時間	部活動の充実		
豊かな心	ボランティア活動		
評価の適切性	朝読書		

○生徒はほぼ全ての質問項目に対して、高い評価をしています。多くの生徒は学校生活全般に充実感を持ち、目標をもって生活しているようです。保護者については、どの項目も生徒との間に隔りがあります。多くの生徒が充実した学校生活を送っていることを、学校は授業参観や三者面談等で、保護者に伝えていく必要があります。

○生徒・保護者共に学校行事、部活動の充実、ボランティア活動に対する評価が高く、今後も大切にしていける必要があります。

○教職員と保護者の隔りのある項目については、教職員と保護者との情報交換をより一層深め、共通理解の下で生徒と関わっていく必要があります。